



2022年6月24日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマト  
代表者名 代表取締役社長執行役員 町田 豊  
(コード番号:1967 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 藤井政宏  
(Tel 027-290-1800)

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、取締役会全体の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的とし、取締役会全体の実効性に関する分析・評価を行いました。

なお、必要に応じその集計・分析については、外部機関に委託しております。

2022年3月期の取締役会の実効性に関する評価結果の概要は下記のとおりであります。

### 記

#### 1. 評価の実施方法

取締役会評価においては、以下の事項を内容とするアンケートをすべての取締役、監査役に実施し、その回答を得ました。

対 象 者 : 取締役9名(うち社外2名)、監査役3名(うち社外2名) 合計12名  
対 象 期 間 : 2022年3月期  
実 施 期 間 : 2022年4月  
手 法 : 自己評価方式  
アンケート : 5段階評価と自由記述式回答 10区分(31項目)  
区 分 概 要 :

- ① 取締役会の構成
- ② 取締役会の運営
- ③ 取締役会の議論
- ④ 取締役会のモニタリング機能
- ⑤ 社外取締役のパフォーマンス
- ⑥ 取締役・監査役に対する支援体制
- ⑦ トレーニング
- ⑧ 株主(投資家)との対話
- ⑨ 自身の取組み
- ⑩ 総括

## 2. 評価結果の概要

評価結果の概要については、次のとおりであります。

- (1) 当社取締役会は、取締役会の構成、取締役会の運営、取締役会の議論、取締役会のモニタリング機能、社外取締役のパフォーマンス、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主（投資家）との対話、自身の取組み、総括の各アンケート内容について、概ね取締役会の実効性が確保できている評価となりました。
- (2) 前回から課題として取組んでいる事項
  - ・取締役会の構成員の多様性の確保  
取締役会は監督機能を高めるためにも、ジェンダーを含む多様性を十分に確保した形で構成されるべきであります。今後、登用ならびに中長期的に人材を育成することも含め、議論・検討を進めてまいります。
  - ・取締役会に提出される資料の検討時間  
取締役会に上程する議題及び資料については、取締役会開催日から1週間前を目途に取締役会事務局に提出を求め、取締役会事務局は、取締役会開催日2～3日前に役員に資料をメールにて事前配信いたしました。評価についても向上しております。一方で議案によっては、検討時間の確保の観点から、もう少し早めの資料提供を求める声が多かったです。積極的な意見の発言を促す意味においても、資料を適切な時期に提供できるよう取り組んでまいります。
  - ・後継者計画  
後継者計画は、議論を深めるべき重要な課題であります。前期は「指名・報酬委員会の設置について」を取締役会において審議いたしました。

## 3. 当期の取組みについて

今後改善すべき点として認識された事項に対し、次のとおり取締役会で取組んでまいります。

- ・役員に求められるトレーニング  
「おおむね適切」とする意見が過半数を超える一方で、「どちらともいえない」、「やや不適切」という意見もありました。役員はその役割・責務を適切に果たすため、トレーニングについて計画的かつ定期的にそして積極的に実施すべきであります。当社は、役員のトレーニングについて、必要な知識の習得等の促進、機会提供に努めてまいります。
- ・後継者計画  
後継者計画は、議論を深めるべき重要な課題であります。前期は「指名・報酬委員会の設置について」を取締役会において審議しました。今後は、規程等の整備に向け審議を重ねてまいります。

以上